



CHAPTER 11

AnyConnect クライアントとインストーラの カスタマイズとローカライズ

Cisco AnyConnect Secure Mobility Client をカスタマイズして、Windows、Linux、および Mac OS X コンピュータ上で稼働するクライアントを含むリモート ユーザに、自社企業のイメージを表示することができます。

クライアントおよびすべてのオプション モジュールは、別の言語にローカライズ（翻訳）できます。また、コア VPN クライアントのインストーラ プログラムもローカライズできます。

この章の次の各項では、カスタマイズおよびローカライズの手順について説明します。

- 「AnyConnect クライアントのカスタマイズ」 (P.11-1)
- 「デフォルトの AnyConnect の英語メッセージの変更」 (P.11-20)
- 「AnyConnect クライアントの GUI とインストーラのローカライズ」 (P.11-22)

AnyConnect クライアントのカスタマイズ

AnyConnect をカスタマイズして、Windows、Linux、および Mac OS X コンピュータ上で稼働するクライアントを含むリモート ユーザに、自社企業のイメージを表示することができます。

クライアントをカスタマイズするには、次の 3 つ方法のいずれかを使用します。

- 企業ロゴおよびアイコンなど個別のクライアント GUI コンポーネントを ASA にインポートし、インストーラからリモート コンピュータに展開することによって、クライアントのブランドを変更する。
- 独自の GUI または CLI を提供し、AnyConnect API を使用する、独自のプログラムをインポートする (Windows および Linux のみ)。



(注) ネットワーク アクセス マネージャおよび Web セキュリティでは、AnyConnect API はサポートされていません。Web セキュリティまたはネットワーク アクセス マネージャを展開する場合は、コア AnyConnect クライアントを展開する必要があります。

- 多数のブランド変更のために作成したトランスフォームをインポートする (Windows のみ)。インストーラを使用して ASA から展開されます。

これらの方法の手順について、次の項で説明します。

- 「AnyConnect 3.0 以降の推奨イメージ形式」 (P.11-2)
- 「個別の GUI コンポーネントとカスタム コンポーネントの置き換え」 (P.11-2)

- ・「クライアント API を使用する実行ファイルの展開」(P.11-4)
- ・「トランスフォームを使用した GUI のカスタマイズ」(P.11-5)
- ・「カスタム アイコンおよびロゴの作成について」(P.11-7)

AnyConnect 3.0 以降の推奨イメージ形式

次の理由から、AnyConnect 3.0 以降には、最大サイズが 62 x 33 ピクセルのポータブル ネットワーク グラフィック (PNG) イメージの使用を推奨します。

- ・ PNG イメージは、その他のイメージ形式よりもファイル サイズが小さいため、使用するディスク領域が少なく済みます。
- ・ PNG では、デフォルトでトランスペアレントがサポートされています。
- ・ AnyConnect 3.0 以降の GUI では、[詳細 (Advanced)] ウィンドウおよびトレイ フライアウトにタイトルがロゴ イメージに隣接して表示されます。そのため、これよりも前のクライアントでイメージを使用して指定したタイトルは、ユーザを混乱させる可能性があります。

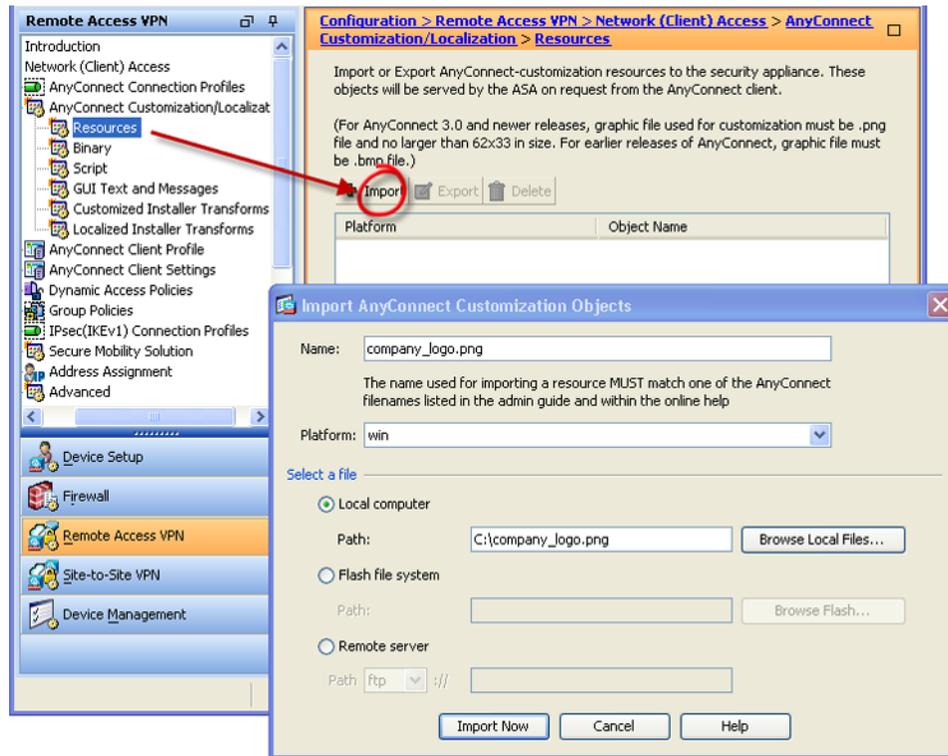
個別の GUI コンポーネントとカスタム コンポーネントの置き換え

独自のカスタム ファイルをセキュリティ アプライアンスにインポートし、その新しいファイルをクライアントに展開することによって、AnyConnect をカスタマイズすることができます。表 11-2、表 11-3、および表 11-4 に、オリジナルの GUI アイコンのサンプル イメージとそのサイズを示します。カスタム ファイルをインポートし、クライアントに展開するには、次の手順に従います。

ステップ 1 [設定 (Configuration)] > [リモート アクセス VPN (Remote Access VPN)] > [ネットワーク (クライアント) アクセス (Network (Client) Access)] > [AnyConnect カスタマイゼーション/ローカライゼーション (AnyConnect Customization/Localization)] > [リソース (Resources)] の順に選択します。

[インポート (Import)] をクリックします。[AnyConnect カスタマイゼーション オブジェクトのインポート (Import AnyConnect Customization Object)] ウィンドウが表示されます (図 11-1)。

図 11-1 カスタマイゼーション オブジェクトのインポート



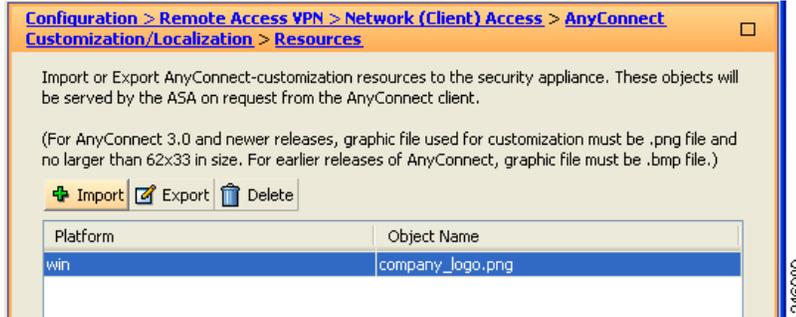
ステップ 2 インポートするファイルの名前を入力します。置き換え可能なすべての GUI コンポーネントのファイル名については、表 11-2、表 11-3、および表 11-4 を参照してください。



(注) カスタム コンポーネントのファイル名は、AnyConnect GUI で使用されるファイル名と一致している必要があります。これはオペレーティング システムによって異なり、Mac および Linux では大文字と小文字が区別されます。たとえば、Windows クライアント用の企業ロゴを置き換えるには、独自の企業ロゴを *company_logo.png* としてインポートする必要があります。別のファイル名でインポートすると、AnyConnect インストーラはそのコンポーネントを変更しません。ただし、独自の実行ファイルを展開して GUI をカスタマイズする場合は、その実行ファイルから任意のファイル名のリソース ファイルを呼び出すことができます。

ステップ 3 プラットフォームを選択し、インポートするファイルを指定します。[今すぐインポート (Import Now)] をクリックします。ファイルがテーブル (図 11-2) に表示されます。

図 11-2 テーブルに表示されたインポート済みのファイル



(注)

イメージをソース ファイルとして（たとえば、company_logo.bmp）インポートする場合、インポートしたイメージは、同じファイル名を使用して別のイメージを再インポートするまで、AnyConnect をカスタマイズします。たとえば、company_logo.bmp をカスタム イメージに置き換えて、このイメージを削除する場合、同じファイル名を使用して新しいイメージ（または元のシスコ ロゴ イメージ）をインポートするまで、クライアントはこのイメージの表示を継続します。

クライアント API を使用する実行ファイルの展開

Windows、Linux、または Mac コンピュータの場合、AnyConnect API を使用して、自分のユーザー インターフェイス (UI) を展開できます。クライアントのバイナリ ファイルを置き換えることによって、AnyConnect GUI または AnyConnect CLI を置き換えます。

カスタム UI を配信して、AnyConnect ソフトウェア アップデートを管理する必要があります。

次の AnyConnect 機能は、カスタム AnyConnect UI と互換性がありません。

- ASA からの AnyConnect ソフトウェアの展開。ASA で AnyConnect パッケージのバージョンを更新すると、カスタム UI を置き換えるエンド ユーザ クライアントが更新されることがあります。AnyConnect ソフトウェアの配布およびカスタム クライアントを管理する必要があります。AnyConnect クライアントを交換するには、ASDM の [設定 (Configuration)] > [リモート アクセス VPN (Remote Access VPN)] > [ネットワーク (クライアント) アクセス (Network (Client) Access)] > [AnyConnect カスタマイゼーション/ローカリゼーション (AnyConnect Customization/Localization)] > [バイナリ (Binary)] ダイアログでバイナリをアップロードできますが、その機能はサポートされません。
- ネットワークアクセスマネージャと Web セキュリティ。[Web セキュリティ (Web Security)] または [ネットワークアクセスマネージャ (Network Access Manager)] を展開する場合は、Cisco AnyConnect Secure Mobility Client GUI を使用する必要があります。
- [ログイン前の起動 (Start Before Logon)] はサポートされていません。

次の表に、異なるオペレーティング システムのクライアント実行ファイルのファイル名が表示されます。

表 11-1 クライアント実行ファイルのファイル名前

クライアント OS	クライアント GUI ファイル	クライアント CLI ファイル
Windows	vpnui.exe	vpncli.exe
Linux	vpnui	vpn
Mac	非サポート ¹	vpn

1. ASA からの展開はサポートされません。ただし、Altiris Agent などの他の手段によって、クライアント GUI を置き換える Mac 用の実行ファイルを展開できます。

実行ファイルは、ASA にインポートしたあらゆるリソース ファイル（ロゴ イメージなど）を呼び出すことができます（図 11-1 を参照）。事前定義された GUI コンポーネントを置き換える場合とは異なり、独自の実行ファイルを展開する場合は、リソース ファイルに任意のファイル名を使用できます。

トランスフォームを使用した GUI のカスタマイズ

作成した独自のトランスフォームを、クライアント インストーラ プログラムを使用して展開することによって、AnyConnect GUI を大幅にカスタマイズすることができます（Windows のみ）。トランスフォームを ASA にインポートすると、インストーラ プログラムを使用して展開されます。

MSI トランスフォームを作成するには、Microsoft から Orca という名前の無料データベース エディタをダウンロードし、インストールします。このツールを使用して、既存のインストレーションを修正し、場合によっては新しいファイルを追加します。Orca ツールは、Microsoft Windows Installer Software Development Kit (SDK) の一部で、Microsoft Windows SDK に同梱されています。次のリンクから Orca プログラムを含むバンドルを入手できます。

http://msdn.microsoft.com/library/default.asp?url=/library/en-us/msi/setup/orca_exe.asp

SDK をインストールすると、Orca MSI は、次の場所に格納されます。

C:\Program Files\Microsoft SDK SP1\Microsoft Platform SDK\Bin\Orca.msi

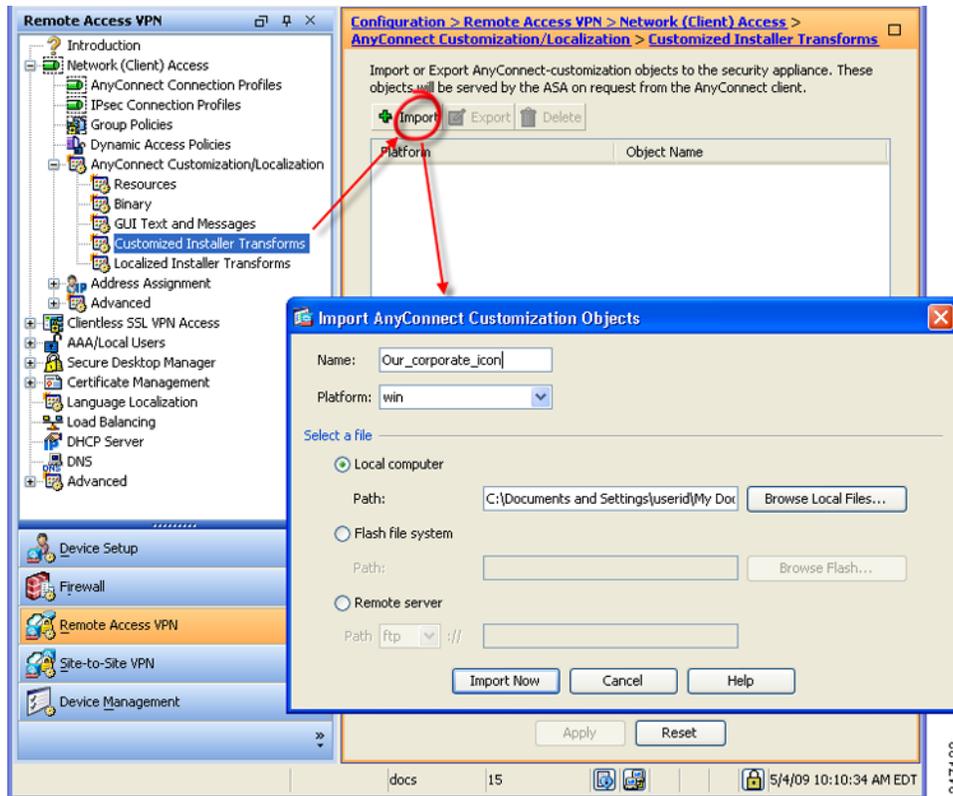
Orca ソフトウェアをインストールしてから、[スタート (Start)] > [すべてのプログラム (All Programs)] メニューを選択して Orca プログラムにアクセスします。

トランスフォームをインポートする手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [設定 (Configuration)] > [リモート アクセス VPN (Remote Access VPN)] > [ネットワーク (クライアント) アクセス (Network (Client) Access)] > [AnyConnect カスタマイゼーション/ローカライゼーション (AnyConnect Customization/Localization)] > [カスタマイズされたインストーラ トラン

スフォーム (Customized Installer Transforms)] の順に選択します。[インポート (Import)] をクリックします。[AnyConnect カスタマイゼーション オブジェクトのインポート (Import AnyConnect Customization Objects)] ウィンドウが表示されます (図 11-3)。

図 11-3 カスタマイズ用トランスフォームのインポート



- ステップ 2** インポートするファイルの名前を入力します。他のカスタマイズ用オブジェクトの名前とは異なり、この名前は ASA にとって重要ではないため、自由に指定できます。
- ステップ 3** プラットフォームを選択し、インポートするファイルを指定します。[今すぐインポート (Import Now)] をクリックします。ファイルがテーブル (図 11-4) に表示されます。



(注) トランスフォームの適用先として選択できるのは Windows だけです。

図 11-4 テーブルに表示されたカスタマイズ用のトランスフォーム



トランスフォームの例

このマニュアルでは、トランスフォームの作成についてのチュートリアルを提供できませんが、トランスフォームの代表的なエントリをいくつか次に示します。これらのエントリでは、*company_logo.bmp* がローカル コピーと置き換えられ、カスタム プロファイル *MyProfile.xml* がインストールされます。

```
DATA CHANGE - Component Component ComponentId
+ MyProfile.xml {39057042-16A2-4034-87C0-8330104D8180}
```

```
Directory_ Attributes Condition KeyPath
Profile_DIR 0 MyProfile.xml
```

```
DATA CHANGE - FeatureComponents Feature_ Component_
+ MainFeature MyProfile.xml
```

```
DATA CHANGE - File File Component_ FileName FileSize Version Language Attributes Sequence
+ MyProfile.xml MyProfile.xml MyProf~1.xml|MyProfile.xml 601 8192 35
<> company_logo.bmp 37302{39430} 8192{0}
```

```
DATA CHANGE - Media DiskId LastSequence DiskPrompt Cabinet VolumeLabel Source
+ 2 35
```

カスタム アイコンおよびロゴの作成について

次の表で、AnyConnect がサポートするオペレーティング システムごとに、置き換えることができるファイルを示します。



(注)

独自のカスタム イメージを作成してクライアント アイコンを置き換えるには、使用するイメージのサイズを、オリジナルの Cisco イメージと同じサイズにする必要があります。

Windows の場合

Windows 用のファイルはすべて次の場所に格納されています。

```
%PROGRAMFILES%\Cisco\Cisco AnyConnect Secure Mobility Client\res\
```



(注)

%PROGRAMFILES% は、同じ名前の環境変数を指します。ほとんどの Windows インストールでは、C:\Program Files です。

表 11-2 に、置き換えることができるファイルと、その影響を受けるクライアント GUI エリアを示します。

表 11-2 AnyConnect for Windows : アイコン ファイル

Windows インストールレーションでのファイル名および説明	イメージ サイズ (ピクセル、長さ x 高さ) およびタイプ
<p>about.png</p> <p>[詳細 (Advanced)] ダイアログの右上にある [バージョン情報 (About)] ボタン。 サイズは調整できません。</p> 	<p>24 x 24</p> <p>PNG</p>
<p>about_hover.png</p> <p>[詳細 (Advanced)] ダイアログの右上にある [バージョン情報 (About)] ボタン。 サイズは調整できません。</p> 	<p>24 x 24</p> <p>PNG</p>
<p>ArrowDown.png</p> <p>このボタンを使用すると、ユーザはネットワーク アクセス マネージャの [詳細 (Advanced)] ウィンドウにある [設定 (Configuration)] タブで、[ネットワーク (Networks)] リスト内のネットワークを下に移動できます。 サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 22</p> <p>PNG</p>
<p>ArrowDownDisabled.png</p> <p>このディセーブルになったボタンを使用すると、ユーザはネットワーク アクセス マネージャの [詳細 (Advanced)] ウィンドウにある [設定 (Configuration)] タブで、[ネットワーク (Networks)] リスト内のネットワークを下に移動できます。 サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 22</p> <p>PNG</p>
<p>ArrowUp.png</p> <p>このボタンを使用すると、ユーザはネットワーク アクセス マネージャの [詳細 (Advanced)] ウィンドウにある [設定 (Configuration)] タブで、[ネットワーク (Networks)] リスト内のネットワークを上移動できます。 サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 22</p> <p>PNG</p>

表 11-2 AnyConnect for Windows : アイコン ファイル (続き)

Windows インストールでのファイル名および説明	イメージ サイズ (ピクセル、長さ x 高さ) およびタイプ
<p>ArrowUpDisabled.png</p> <p>このディセーブルになったボタンを使用すると、ユーザはネットワーク アクセス マネージャの [詳細 (Advanced)] ウィンドウにある [設定 (Configuration)] タブで、[ネットワーク (Networks)] リスト内のネットワークを上に移動できます。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 22</p> <p>PNG</p>
<p>company_logo.png</p> <p>トレイ フライアウトおよび [詳細 (Advanced)] ダイアログの左上、および [バージョン情報 (About)] ダイアログの右下に表示される企業ロゴ。</p> <p>最大サイズは 97 x 58 です。ご使用のカスタム ファイルがこのサイズ以外の場合は、アプリケーションで 97 x 58 にサイズ変更されます。比率が異なる場合は、引き伸ばされます。</p> 	<p>97 x 58 (最大)</p> <p>PNG</p>
<p>attention.ico</p> <p>注意または操作が必要な状態をユーザに通知するシステム トレイ アイコン。たとえば、ユーザ クレデンシャルについてのダイアログです。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>ICO</p>
<p>error.ico</p> <p>1 つ以上のコンポーネントで致命的な問題が発生していることをユーザに通知するシステム トレイ アイコン。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>ICO</p>

表 11-2 AnyConnect for Windows : アイコン ファイル (続き)

Windows インストールでのファイル名および説明	イメージ サイズ (ピクセル、長さ x 高さ) およびタイプ
<p>neutral.ico</p> <p>クライアントのコンポーネントが正常に動作していることを示すシステム トレイ アイコン。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>ICO</p>
<p>vpn_connected.ico</p> <p>VPN が接続中であることを示すシステム トレイアイコン。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>ICO</p>
<p>cues_bg.jpg</p> <p>トレイ フライアウト、[詳細 (Advanced)] ウィンドウ、および [バージョン情報 (About)] ダイアログの背景イメージ。</p> <p>イメージが引き伸ばされることはないため、過度に小さい置換イメージを使用すると、領域が黒くなります。</p> 	<p>1260 x 1024</p> <p>JPEG</p>

表 11-2 AnyConnect for Windows : アイコン ファイル (続き)

Windows インストールでのファイル名および説明	イメージ サイズ (ピクセル、長さ x 高さ) およびタイプ
<p>gradient.png</p> <p>[詳細 (Advanced)] ウィンドウ内のコンポーネント タイトル背景のグラデーション。</p> 	<p>1 x 38</p> <p>PNG</p>
<p>GUI.tif</p> <p>アプリケーションおよびシステム トレイ アイコン。</p> 	
<p>mftogglebtn.png</p> <p>[詳細 (Advanced)] ウィンドウ内の非アクティブ メニューの背景。</p> <p>AnyConnect のインストールに複数のコンポーネント (ネットワーク アクセス マネージャ、Web セキュリティ、テレメトリなど) が含まれている場合は、GUI の [詳細 (Advanced)] ウィンドウには各コンポーネントのメニュー オプションが表示されます。このイメージは、非アクティブのメニュー オプションの背景に使用されます。</p> 	<p>300 x 40</p> <p>PNG</p>
<p>mftogglebtn-down.png</p> <p>[詳細 (Advanced)] ウィンドウ内の [ステータス概要 (Status Overview)] メニュー オプションの背景 (アクティブのとき)。</p> <p>AnyConnect のインストールに複数のコンポーネント (ネットワーク アクセス マネージャ、Web セキュリティ、テレメトリなど) が含まれている場合は、GUI の [詳細 (Advanced)] ウィンドウには各コンポーネントのメニュー オプションが表示されます。このイメージは、[詳細 (Advanced)] ウィンドウが最初に表示されたとき、およびユーザが [ステータス概要 (Status Overview)] メニュー オプションをクリックしたときに、このメニュー オプションの背景として使用されます。</p> 	<p>300 x 40</p> <p>PNG</p>

表 11-2 AnyConnect for Windows : アイコン ファイル (続き)

Windows インストールでのファイル名および説明	イメージサイズ (ピクセル、長さ x 高さ) およびタイプ
<p>mftogglebtn-down-solid.png</p> <p>[ステータス概要 (Status Overview)] メニュー オプション以外の [詳細 (Advanced)] ウィンドウのメニュー オプションの背景。そのメニュー オプションがにアクティブのときに使用されます。</p> <p>AnyConnect のインストールに複数のコンポーネント (ネットワーク アクセス マネージャ、Web セキュリティ、テレメトリなど) が含まれている場合は、GUI の [詳細 (Advanced)] ウィンドウには各コンポーネントのメニュー オプションが表示されません。このイメージは、[ステータス概要 (Status Overview)] メニュー オプション以外のすべてのメニュー オプションについて、ユーザがそのメニュー オプションをクリックしてアクティブにしたときに背景として使用されます。</p> 	<p>300 x 40</p> <p>PNG</p>
<p>minimize.png</p> <p>トレイ フライアウトの最小化ボタン。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>minimize-hover.png</p> <p>トレイ フライアウトの最小化ボタン (マウス オーバーしたときに表示されます)。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>pinned.png</p> <p>ネットワーク アクセス マネージャのトレイ フライアウト タイトルに表示されるこのボタンを使用すると、ネットワークが自動的に選択されるようになります。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>38 x 30</p> <p>PNG</p>

表 11-2 AnyConnect for Windows : アイコン ファイル (続き)

Windows インストールでのファイル名および説明	イメージ サイズ (ピクセル、長さ x 高さ) およびタイプ
<p>pinned_button.png</p> <p>ネットワーク アクセス マネージャのトレイ フライアウト タイトルに表示されるこのボタン (マウス オーバーしたときに表示されます) を使用すると、ネットワークが自動的に選択されるようになります。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>38 x 30</p> <p>PNG</p>
<p>status_ico_attention.png</p> <p>トレイ フライアウトおよび [詳細 (Advanced)] ウィンドウの [ステータス概要 (Status Overview)] ペインにある各コンポーネントにより使用される [注意 (Attention)] ステータス アイコンで、ユーザの注意が必要なことを示します。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>status_ico_error.png</p> <p>トレイ フライアウトおよび [詳細 (Advanced)] ウィンドウの [ステータス概要 (Status Overview)] ペインにある各コンポーネントにより使用される [エラー (Error)] ステータス アイコンで、サービス到達不能などの深刻なエラーを示します。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>status_ico_good.png</p> <p>トレイ フライアウトおよび [詳細 (Advanced)] ウィンドウの [ステータス概要 (Status Overview)] ペインにある各コンポーネントにより使用される [標準 (Good)] ステータス アイコンで、そのコンポーネントが正常に動作していることを示します。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>

表 11-2 AnyConnect for Windows : アイコン ファイル (続き)

Windows インストールでのファイル名および説明	イメージサイズ (ピクセル、長さ x 高さ) およびタイプ
<p>status_ico_neutral.png</p> <p>トレイ フライアウトおよび [詳細 (Advanced)] ウィンドウの [ステータス概要 (Status Overview)] ペインにある各コンポーネントにより使用される [中 (Neutral)] ステータス アイコンで、そのコンポーネントは正常に動作しているものの、必ずしもそのコンポーネントがアクティブとは限らないことを示します。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>status_ico_transition.png</p> <p>トレイ フライアウトおよび [詳細 (Advanced)] ウィンドウの [ステータス概要 (Status Overview)] ペインにある各コンポーネントにより使用される [移行中 (Transition)] ステータス アイコンで、接続から接続解除への移行など、状態遷移中であることを示します。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>status_ico_trusted.png</p> <p>トレイ フライアウトおよび [詳細 (Advanced)] ウィンドウの [ステータス概要 (Status Overview)] ペインにある各コンポーネントにより使用される [信頼されている (Trusted)] ステータス アイコンで、そのコンポーネントは正常に動作しているものの、Trusted Network Detection (TND) 機能などによって設定されたポリシーによってディセーブルになっていることを示します。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>transition_1.ico</p> <p>transition_2.ico および transition_3.ico と一緒に使用されるシステム トレイ アイコンで、1 つ以上のクライアント コンポーネントが状態遷移中であることを示します (たとえば、VPN に接続中、ネットワーク アクセス マネージャに接続中など)。3 つのアイコン ファイルが次々に表示されます。これは、左から右に移動する 1 つのアイコンのように見えます。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>

表 11-2 AnyConnect for Windows : アイコン ファイル (続き)

Windows インストールでのファイル名および説明	イメージ サイズ (ピクセル、長さ x 高さ) およびタイプ
<p>transition_2.ico</p> <p>transition_1.ico および transition_3.ico と一緒に使用されるシステム トレイ アイコンで、1 つ以上のクライアント コンポーネントが状態遷移中であることを示します (たとえば、VPN に接続中、ネットワーク アクセス マネージャに接続中など)。3 つのアイコン ファイルが次々に表示されます。これは、左から右に移動する 1 つのアイコンのように見えます。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>transition_3.ico</p> <p>transition_1.ico および transition_2.ico と一緒に使用されるシステム トレイ アイコンで、1 つ以上のクライアント コンポーネントが状態遷移中であることを示します (たとえば、VPN に接続中、ネットワーク アクセス マネージャに接続中など)。3 つのアイコン ファイルが次々に表示されます。これは、左から右に移動する 1 つのアイコンのように見えます。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>unpinned.png</p> <p>ネットワーク アクセス マネージャのトレイ フライアウト タイトルに表示されるこのボタンを使用すると、ユーザは現在のネットワークに排他的に接続できます。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>38 x 30</p> <p>PNG</p>
<p>unpinned_button.png</p> <p>ネットワーク アクセス マネージャのトレイ フライアウト タイトルに表示されるこのボタン (マウス オーバーしたときに表示されます) を使用すると、ユーザは現在のネットワークに排他的に接続できます。</p> <p>サイズは調整できません。</p> 	<p>38 x 30</p> <p>PNG</p>

Linux の場合

Linux 用のファイルはすべて次の場所に格納されています。

/opt/cisco/anyconnect/pixmaps/

表 11-3 に、置き換えることができるファイルと、その影響を受けるクライアント GUI エリアを示します。

表 11-3 Linux 用 AnyConnect : アイコン ファイル

	イメージサイズ (ピクセル、長さ x 高さ) およびタイプ
<p>Linux インストールでのファイル名および説明</p> <p>company-logo.png</p> <p>ユーザ インターフェイスの各タブに表示される企業ロゴ。</p> <p>AnyConnect 3.0 以降の場合は、62 x 33 ピクセル以下の PNG イメージを使用してください。</p> 	<p>142 x 92</p> <p>PNG</p>
<p>cvc-about.png</p> <p>[バージョン情報 (About)] タブに表示されるアイコン。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>cvc-connect.png</p> <p>[接続 (Connect)] ボタンの隣、および [接続 (Connection)] タブに表示されるアイコン。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>cvc-disconnect.png</p> <p>[接続解除 (Disconnect)] ボタンの隣に表示されるアイコン。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>
<p>cvc-info.png</p> <p>[統計情報 (Statistics)] タブに表示されるアイコン。</p> 	<p>16 x 16</p> <p>PNG</p>

表 11-3 Linux 用 AnyConnect : アイコン ファイル

Linux インストールでのファイル名および説明	イメージサイズ (ピクセル、長さ x 高さ) およびタイプ
systray_connected.png クライアントが接続中のときに表示されるトレイ アイコン。 	16 x 16 PNG
systray_notconnected.png クライアントが接続中でないときに表示されるトレイ アイコン。 	16 x 16 PNG
systray_disconnecting.png クライアントが接続解除の処理中のときに表示されるトレイ アイコン。 	16 x 16 PNG
systray_quarantined.png クライアントが隔離中のときに表示されるトレイ アイコン。 	16 x 16 PNG
systray_reconnecting.png クライアントが再接続中のときに表示されるトレイ アイコン。 	16 x 16 PNG
vpnui48.png メイン プログラム アイコン。 	48 x 48 PNG

Mac OS X の場合

OS X 用のファイルはすべて次の場所に格納されています。

/Applications/Cisco AnyConnect Secure Mobility Client/Contents/Resources



(注)

Resources フォルダは、[アプリケーション (Applications)] > [Cisco] に移動して [Cisco AnyConnect Secure Mobility Client] をクリックし、[パッケージ コンテンツの表示 (Show Package Contents)] を選択すると見つかります。

表 11-4 に、置き換えることができるファイルと、その影響を受けるクライアント GUI エリアを示します。

表 11-4 Mac OS X 用 AnyConnect : アイコン ファイル

Mac OS X インストールでのファイル名	イメージサイズ (ピクセル数、幅 × 高さ)
bubble.png クライアントが接続または接続解除したときに表示される通知バブル。 	142 x 92 PNG
connected.png クライアントが接続中のときに、接続解除ボタンの下に表示されるアイコン。 	32 x 32 PNG
logo.png メイン画面の右上に表示されるロゴアイコン。 	50 x 33 PNG
menu_connected.png 接続状態のメニューバー アイコン。 	16 x 16 PNG
menu_error.png エラー状態のメニューバー アイコン。 	16 x 16 PNG

表 11-4 Mac OS X 用 AnyConnect : アイコン ファイル

Mac OS X インストールでのファイル名	イメージサイズ (ピクセル数、幅 × 高さ)
menu_idle.png 接続解除されているアイドル メニューバー アイコン。 	16 x 16 PNG
menu_quarantined.png 隔離状態のメニューバー アイコン。 	16 x 16 PNG
menu_reconnecting.png 再接続処理中のメニューバー アイコン。 	16 x 16 PNG
warning.png さまざまな認証/証明書警告のログイン フィールドの代わりに表示されるアイコン。 	40 x 40 PNG
vpngui.icns すべてのアイコン サービス (Dock、Sheets、Finder など) で使用される Mac OS X アイコン ファイル フォーマット。 	128 x 128 PNG

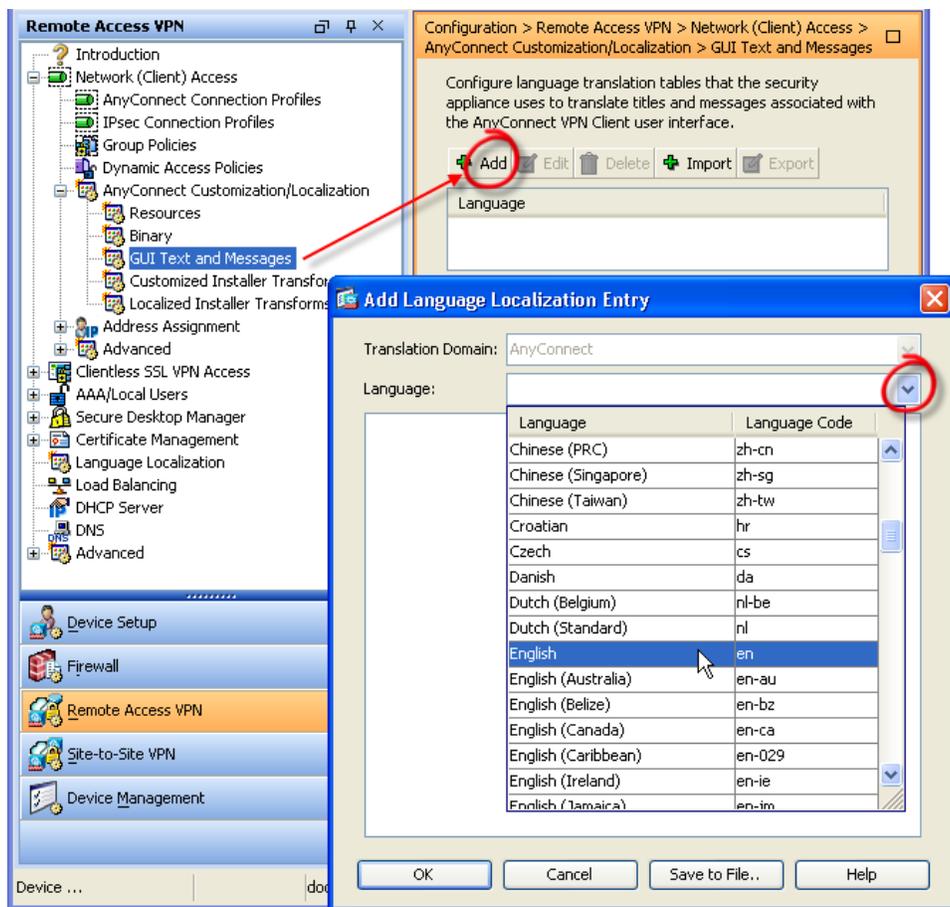
デフォルトの AnyConnect の英語メッセージの変更

英語変換テーブルを追加し、ASDM の編集ウィンドウでメッセージテキストを変更することによって、AnyConnect GUI に表示される英語のメッセージを変更できます。

ここでは、デフォルトの英語メッセージを変更する方法について説明します。

- ステップ 1** [設定 (Configuration)] > [リモート アクセス VPN (Remote Access VPN)] > [ネットワーク (クライアント) アクセス (Network (Client) Access)] > [AnyConnect カスタマイゼーション/ローカライゼーション (AnyConnect Customization/Localization)] > [GUI テキストおよびメッセージ (GUI Text and Messages)] の順に選択します。[追加 (Add)] をクリックします。[言語ローカライゼーション エントリの追加 (Add Language Localization Entry)] ウィンドウが表示されます (図 11-5)。

図 11-5 英語変換テーブルの追加

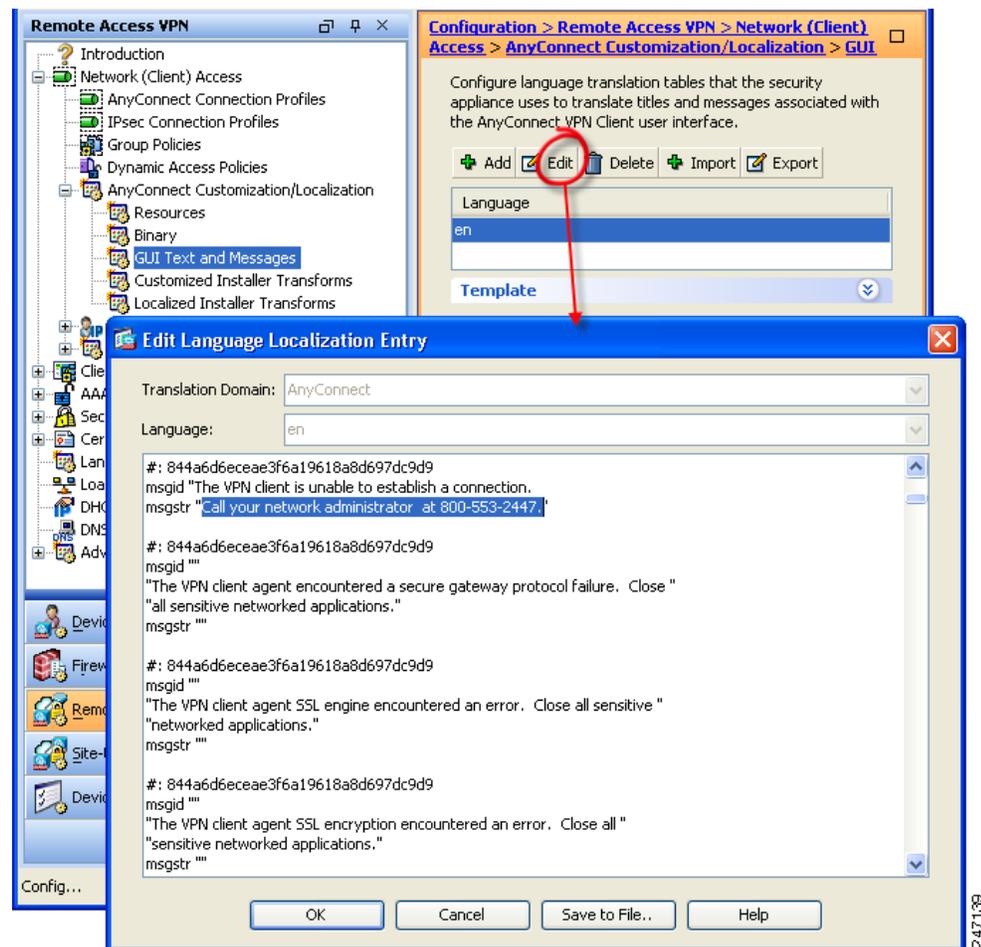


ステップ 2 [言語 (Language)] ドロップリストをクリックし、言語として [英語 (en) (English (en))] を指定します。英語の変換テーブルが、ペインの言語リストに表示されます。

ステップ 3 [編集 (Edit)] をクリックして、メッセージの編集を開始します。[言語のローカライズ エントリの編集 (Edit Language Localization Entry)] ウィンドウが表示されます (図 11-6)。msgid の引用符で囲まれたテキストは、クライアントに表示されるデフォルトの英語テキストです。変更してはいけません。msgstr の文字列には、msgid のデフォルト テキストを置き換えるために、クライアントで使われるテキストが含まれます。msgstr の引用符の間に、使用するテキストを挿入します。

次の例では、「Call your network administrator at 800-553-2447」が挿入されています。

図 11-6 メッセージ テキストの編集



ステップ 4 [OK] をクリックしてから、[GUI テキストおよびメッセージ (GUI Text and Messages)] ペインで [適用 (Apply)] をクリックして、変更を保存します。

AnyConnect クライアントの GUI とインストーラのローカライズ

クライアントおよびすべてのオプション モジュールは、別の言語にローカライズ（翻訳）できます。また、VPN サービスを提供するコア VPN クライアントのインストーラ プログラムもローカライズできます。



(注) Altiris Agent などの社内の IT 展開ソフトウェアを使用して AnyConnect を展開する場合、翻訳できるのはインストーラだけです。クライアントは翻訳できません。ASA からクライアントを展開する場合のみ、クライアントを翻訳できます。

ここでは、この機能の設定について説明し、手順を示します。

- 「AnyConnect GUI のローカライズ」 (P.11-22)
- 「AnyConnect インストーラ画面のローカライズ」 (P.11-30)
- 「ツールを使用した社内展開用メッセージ カタログの作成」 (P.11-32)
- 「新しい翻訳テンプレートと変換テーブルの統合」 (P.11-33)

AnyConnect GUI のローカライズ

セキュリティ アプライアンスは、変換テーブルを使用して AnyConnect に表示されるユーザ メッセージを翻訳します。この変換テーブルは、翻訳されたメッセージテキストを挿入する文字列が記述されたテキスト ファイルです。Windows 用 AnyConnect パッケージ ファイルには、AnyConnect メッセージとして使用する、英語の言語テンプレートが含まれています。クライアント イメージをロードすると、ASA によって自動的にこのファイルがインポートされます。このファイルには、メッセージ文字列の最新の変更が含まれています。これを使用すると、別の言語用の変換テーブルを新しく作成できます。

リモート ユーザが ASA に接続してクライアントをダウンロードすると、クライアントはそのコンピュータの設定言語を検出して、該当する変換テーブルを適用します。クライアントは、オペレーティング システムのインストール時に指定されたロケールを検出します。ASA の変換テーブルを更新する場合、クライアントを再起動し、別の接続に成功するまで、変換されたメッセージは更新されません。

Windows の言語オプションの詳細については、次の URL を参照してください。

<http://www.microsoft.com/windowsxp/using/setup/winxp/yourlanguage.mspx>

<http://www.microsoft.com/globaldev/reference/win2k/setup/changeUI.mspx>



(注) クライアントを ASA から展開せずに、Altiris Agent などの社内のソフトウェア展開システムを使用する場合は、Gettext などのカタログユーティリティを使用して、手動で AnyConnect 変換テーブル (anyconnect.po) を .mo ファイルに変換し、その .mo ファイルをクライアント コンピュータの適切なフォルダにインストールします。詳細については、「ツールを使用した社内展開用メッセージ カタログの作成」 (P.11-32) を参照してください。

次の項では、GUI テキストを翻訳する 2 つの異なる方法について、詳しい手順を説明します。

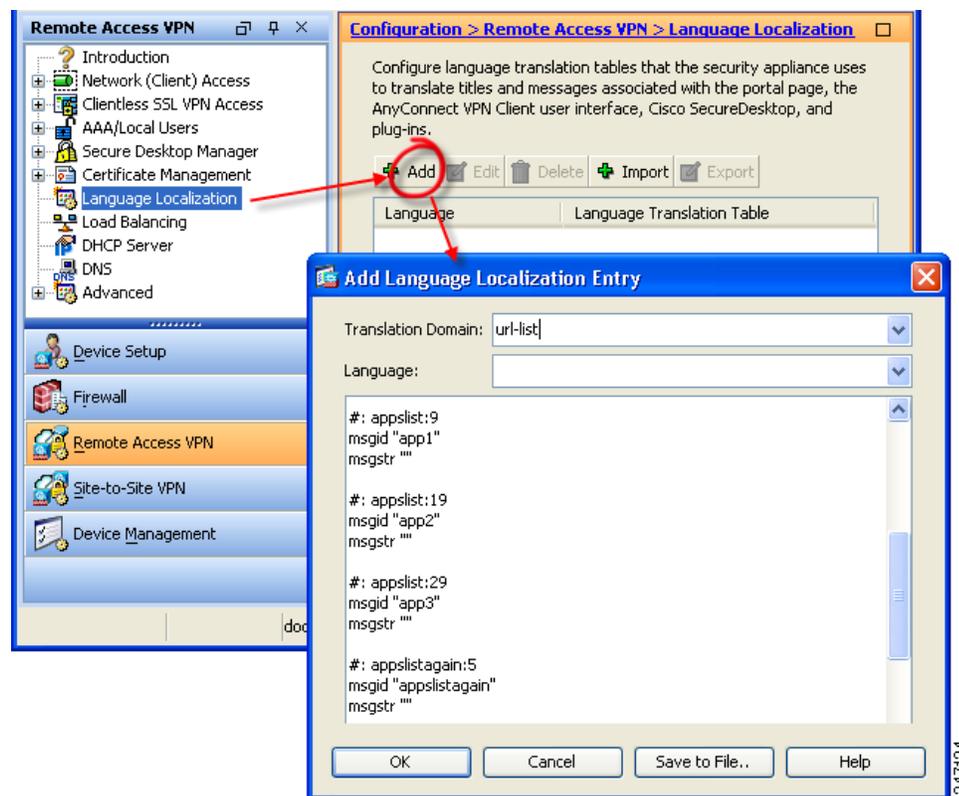
- 「ASDM 変換テーブル エディタを使用した翻訳」 (P.11-23)
- 「変換テーブルのエクスポートと編集による翻訳」 (P.11-27)

ASDM 変換テーブル エディタを使用した翻訳

ここでは、ASDM を使用して AnyConnect GUI をローカライズする方法について説明します。

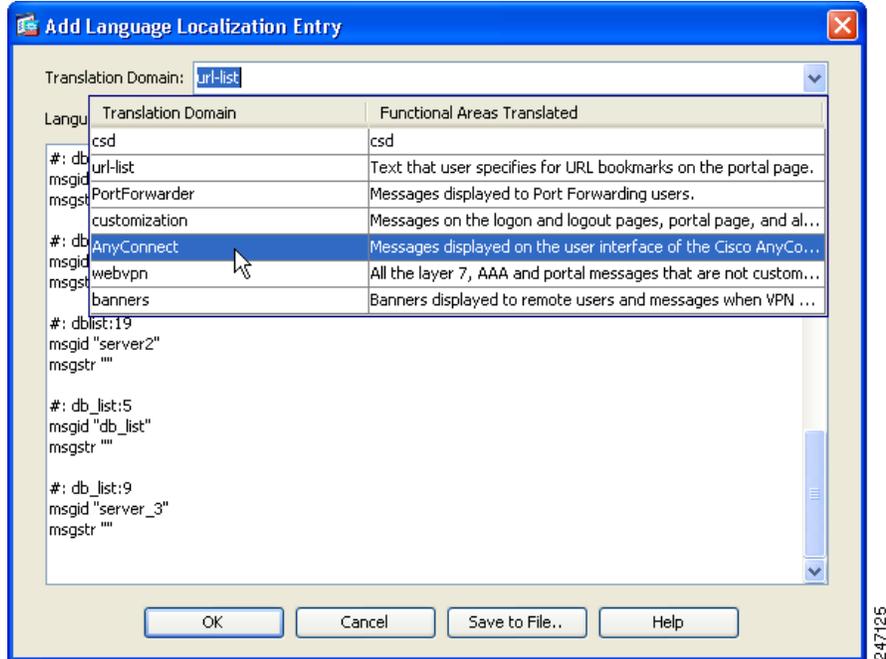
- ステップ 1** [設定 (Configuration)] > [リモート アクセス VPN (Remote Access VPN)] > [言語のローカライズ (Language Localization)] の順に選択します。[追加 (Add)] をクリックします。[言語ローカライゼーション エントリの追加 (Add Language Localization Entry)] ウィンドウが表示されます (図 11-7)。

図 11-7 [言語のローカライズ (Language Localization)] ペイン



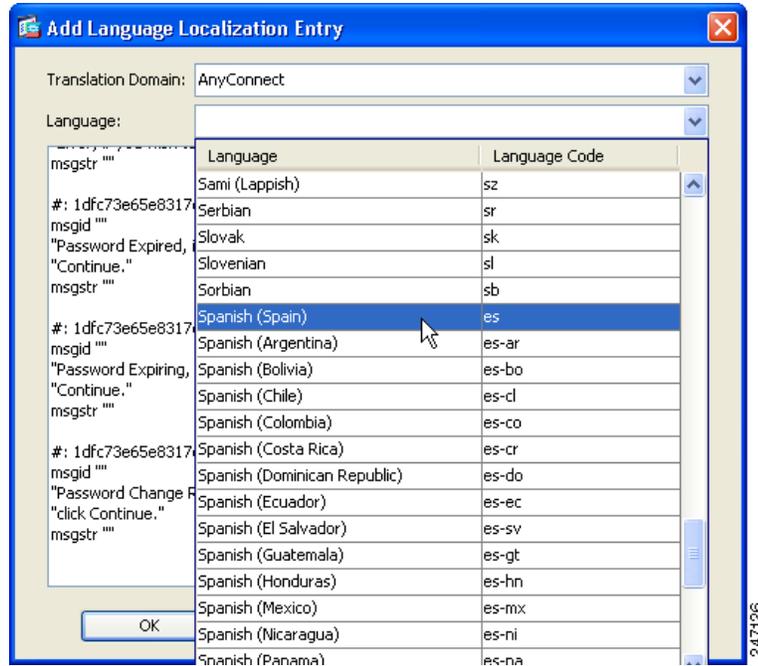
ステップ 2 [変換ドメイン (Translation Domain)] ドロップ リストをクリックし、[AnyConnect] を選択します (図 11-8)。これによって、AnyConnect GUI 関連のメッセージだけが編集用に表示されます。

図 11-8 変換ドメイン



ステップ 3 この変換テーブルの言語を指定します (図 11-9)。ASDM では、Windows およびブラウザで認識される標準的な言語略称が、このテーブルで使用されます (スペイン語は *es* など)。

図 11-9 言語の選択

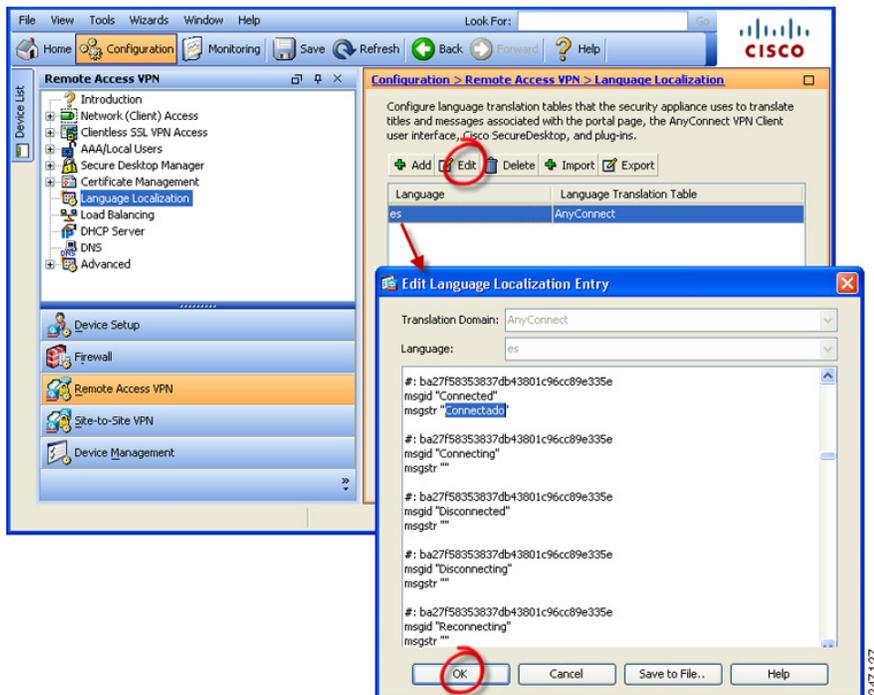


ステップ 4 変換テーブルが、ペインの言語リストに表示されます（この例では *es*）。ただし、翻訳されたメッセージはありません。翻訳されたテキストの追加を開始するには、[編集 (Edit)] をクリックします。[言語のローカライズ エントリの編集 (Edit Language Localization Entry)] ウィンドウが表示されます (図 11-10)。

メッセージ文字列 (msgstr) の引用符の間に、翻訳したテキストを追加します。次の例では、メッセージ文字列の引用符の間に「*Connectado*」（「*Connected*」のスペイン語）を挿入しています。

[OK] をクリックしてから、[言語のローカライズ (Language Localization)] ペインで [適用 (Apply)] をクリックして変更を保存します。

図 11-10 変換テーブルの編集



変換テーブルのエクスポートと編集による翻訳

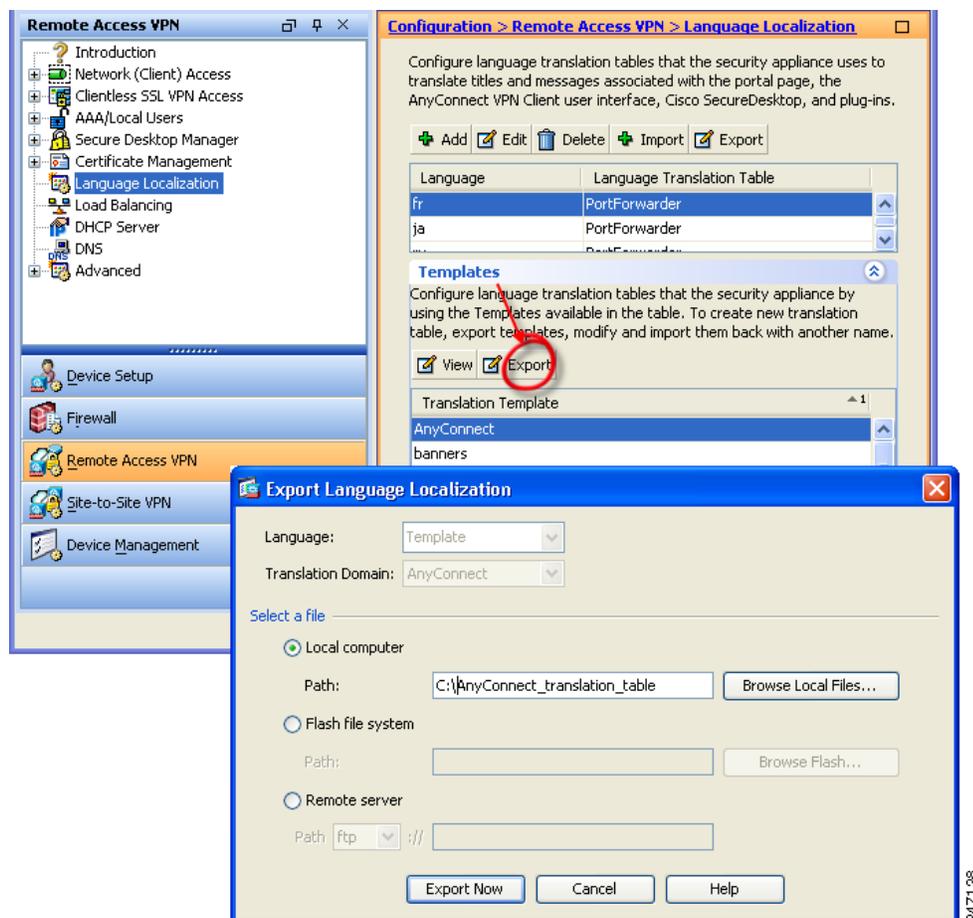
ここでは、AnyConnect 翻訳テンプレートをリモート コンピュータにエクスポートしてから、エディタや、Gettext または Poedit などのサードパーティ製ツールを使用して変換テーブルを編集する手順について説明します。

GNU プロジェクトの Gettext ユーティリティには Windows 版があり、コマンド ウィンドウで実行できます。詳しくは、GNU の Web サイト (gnu.org) を参照してください。また、Poedit などの、Gettext を使用する GUI ベースのユーティリティを使用することもできます。このソフトウェアは poedit.net から入手できます。

ステップ 1 AnyConnect 翻訳テンプレートをエクスポートします。

[設定 (Configuration)] > [リモート アクセス VPN (Remote Access VPN)] > [言語のローカライズ (Language Localization)] の順に選択します。[言語のローカライズ (Language Localization)] ページが表示されます (図 11-11)。[テンプレート (Templates)] リンクをクリックすると、利用可能なテンプレートのテーブルが表示されます。[AnyConnect] テンプレートを選択し、[エクスポート (Export)] をクリックします。[言語のローカライズのエクスポート (Export Language Localization)] ウィンドウが表示されます。

図 11-11 翻訳テンプレートのエクスポート



ステップ 2 エクスポートの方法を選択し、ファイル名を指定します。図 11-11 では、ファイル名 *AnyConnect_translation_table* で、ローカル コンピュータにエクスポートしています。

ステップ 3 変換テーブルを編集します。

次の例は、AnyConnect テンプレートの一部を示しています。この出力の最後には、メッセージ *Connected* のメッセージ ID フィールド (`msgid`) とメッセージ文字列フィールド (`msgstr`) があります。このメッセージは、クライアントが VPN 接続を確立したときに、AnyConnect GUI に表示されず (テンプレート全体には、メッセージフィールドのペアが多数含まれています)。

```
# SOME DESCRIPTIVE TITLE.
# Copyright (C) YEAR THE PACKAGE'S COPYRIGHT HOLDER
# This file is distributed under the same license as the PACKAGE package.
# FIRST AUTHOR <EMAIL@ADDRESS>, YEAR.
#
#, fuzzy
msgid ""
msgstr ""
"Project-Id-Version: PACKAGE VERSION\n"
"Report-Msgid-Bugs-To: \n"
"POT-Creation-Date: 2006-11-01 16:39-0700\n"
"PO-Revision-Date: YEAR-MO-DA HO:MI+ZONE\n"
>Last-Translator: FULL NAME <EMAIL@ADDRESS>\n"
"Language-Team: LANGUAGE <LL@li.org>\n"
"MIME-Version: 1.0\n"
"Content-Type: text/plain; charset=CHARSET\n"
"Content-Transfer-Encoding: 8bit\n"

msgid "Connected"
msgstr ""
```

`msgid` には、デフォルト変換が含まれています。`msgid` に続く `msgstr` が変換を提供します。変換を作成するには、`msgstr` 文字列の引用符の間に変換対象のテキストを入力します。たとえば、メッセージ *"Connected"* をスペイン語で変換するには、引用符の間にスペイン語のテキストを挿入します。

```
msgid "Connected"
msgstr "Conectado"
```

ファイルは必ず保存してください。

ステップ 4 この翻訳テンプレートを、指定した言語用の新しい変換テーブルとしてインポートします。

[設定 (Configuration)] > [リモート アクセス VPN (Remote Access VPN)] > [言語のローカライズ (Language Localization)] の順に選択します。[言語のローカライズ (Language Localization)] ペインが表示されます (図 11-12)。[インポート (Import)] をクリックします。[言語のローカライズのインポート (Import Language Localization)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 [言語 (Language)] ドロップダウン リストをクリックして、この変換テーブルの言語 (および業界で認められている略称) を選択します。手動で略称を入力する場合は、ブラウザおよびオペレーティングシステムが認識できる略称を使用してください。

ステップ 6 [変換ドメイン (Translation Domain)] として *AnyConnect* を指定し、インポート方法を選択して、ファイル名を指定します。[今すぐインポート (Import Now)] をクリックします。テーブルが正常にインポートされたことを示すメッセージが表示されます。

[適用 (Apply)] をクリックし、変更を必ず保存してください。

図 11-11 では、言語として *Spanish(es)* を指定し、ステップ 1 でエクスポートしたファイル (*AnyConnect_translation_table*) をインポートしています。図 11-13 では、AnyConnect の言語リストに、スペイン語用の新しい変換テーブルが表示されています。

図 11-12 新しい変換テーブルとしての翻訳テンプレートのインポート

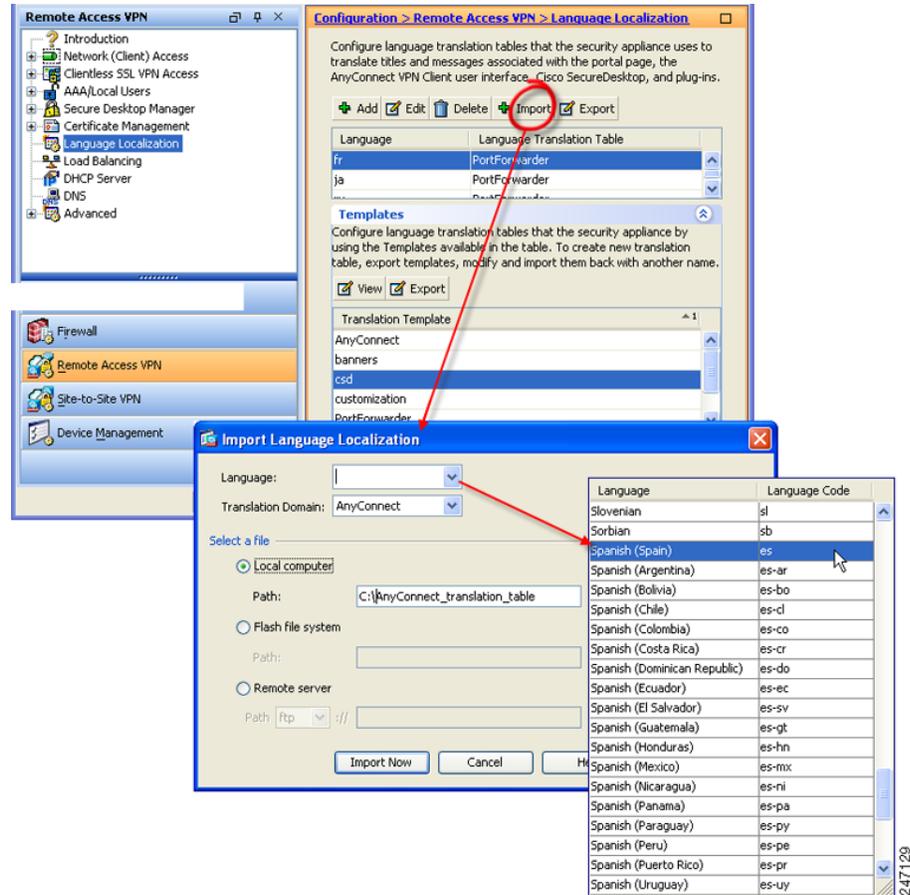


図 11-13 言語テーブルに表示された新しい言語



AnyConnect インストーラ画面のローカライズ

AnyConnect GUI と同様に、VPN サービスをインストールするクライアント インストーラ プログラムで表示されるメッセージを翻訳できます。ASA はトランスフォームを使用して、インストーラに表示されるメッセージを翻訳します。トランスフォームによってインストレーションが変更されますが、元のセキュリティ署名 MSI は変化しません。これらのトランスフォームではインストーラ画面だけが翻訳され、クライアント GUI 画面は翻訳されません。



(注) AnyConnect のすべてのリリースには、ローカライズされたトランスフォームが含まれています。このトランスフォームは、管理者が新しいソフトウェアを含む AnyConnect パッケージをアップロードすると、必ず ASA にアップロードできます。ローカリゼーション トランスフォームを使用している場合は、新しい AnyConnect パッケージをアップロードする際に、必ず CCO の最新リリースでローカリゼーション トランスフォームをアップデートしてください。

言語にはそれぞれ独自のトランスフォームがあります。トランスフォームは Orca などのトランスフォーム エディタで編集して、メッセージの文字列を変更できます。その後、トランスフォームを ASA にインポートします。ユーザがクライアントをダウンロードすると、クライアントはコンピュータの目的の言語（オペレーティング システムのインストール時に指定されたロケール）を検出し、該当するトランスフォームを適用します。

現時点では、30 の言語に対応するトランスフォームが用意されています。これらのトランスフォームは、cisco.com の AnyConnect ソフトウェア ダウンロード ページから、次の .zip ファイルで入手できます。

anyconnect-win-<VERSION>-web-deploy-k9-lang.zip

このファイルの <VERSION> は、AnyConnect のリリース バージョン（2.2.103 など）を表します。

パッケージには使用可能な翻訳用のトランスフォーム（.mst ファイル）が含まれています。用意されている 30 以外の言語をリモート ユーザに表示する必要がある場合は、独自のトランスフォームを作成し、それを新しい言語として ASA にインポートすることができます。Microsoft のデータベース エディタ Orca を使用して、既存のインストレーションおよび新規ファイルを修正できます。Orca は、Microsoft Windows Installer Software Development Kit (SDK) の一部で、Microsoft Windows SDK に同梱されています。次のリンクから Orca プログラムを含むバンドルを入手できます。

http://msdn.microsoft.com/library/default.asp?url=/library/en-us/msi/setup/orca_exe.asp

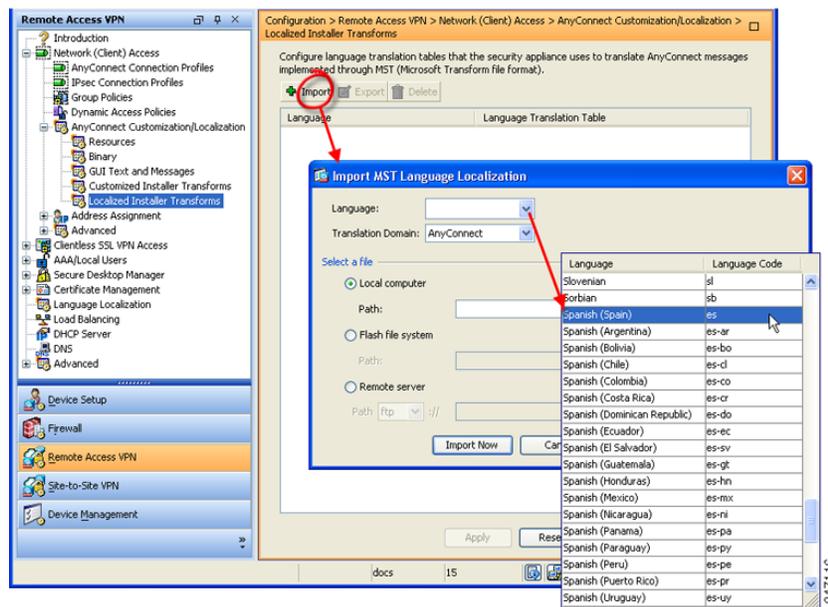
SDK をインストールすると、Orca MSI は、次の場所に格納されます。

C:\Program Files\Microsoft SDK SP1\Microsoft Platform SDK\Bin\Orca.msi

ここでは、ASDM を使用してトランスフォームを ASA にインポートする方法について説明します。

- ステップ 1** トランスフォームをインポートします。[設定 (Configuration)] > [リモート アクセス VPN (Remote Access VPN)] > [ネットワーク (クライアント) アクセス (Network (Client) Access)] > [AnyConnect カスタマイゼーション/ローカリゼーション (AnyConnect Customization/Localization)] > [ローカライズされたインストーラ トランスフォーム (Localized Installer Transforms)] の順に選択します。[インポート (Import)] をクリックします。[MST 言語ローカライズのインポート (Import MST Language Localization)] ウィンドウが表示されます (図 11-14)。

図 11-14 インストーラ プログラムを翻訳するトランスフォームのインポート



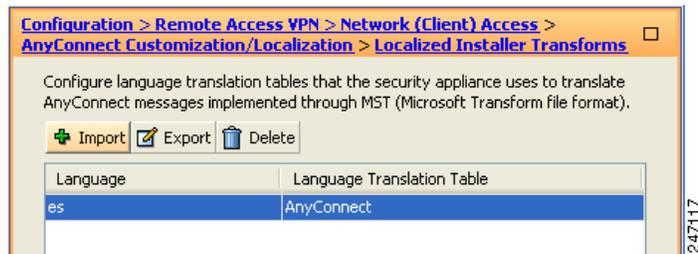
- ステップ 2** [言語 (Language)] ドロップダウン リストをクリックして、このトランスフォーム用の言語 (および業界で認められている略称) を選択します。手動で略称を入力する場合は、ブラウザおよびオペレーティング システムが認識できる略称を使用してください。

ステップ 3 [今すぐインポート (Import Now)] をクリックします。テーブルが正常にインポートされたことを示すメッセージが表示されます。

[適用 (Apply)] をクリックし、変更を必ず保存してください。

図 11-14 では、言語に *Spanish (es)* を指定しています。図 11-15 では、AnyConnect の言語リストに、スペイン語用の新しいトランスフォームが表示されています。

図 11-15 テーブルに表示されたインポート済みのトランスフォーム



ツールを使用した社内展開用メッセージカタログの作成

クライアントを ASA から展開せずに、Altiris Agent などの社内のソフトウェア展開システムを使用する場合は、Gettext などのユーティリティを使用して、手動で AnyConnect 変換テーブルをメッセージカタログに変換できます。テーブルを .po ファイルから .mo ファイルに変換後、そのファイルをクライアント コンピュータ上の該当するフォルダに配置します。

Gettext は GNU プロジェクトのユーティリティであり、コマンド ウィンドウで実行できます。詳しくは、GNU の Web サイト (gnu.org) を参照してください。また、Poedit などの、Gettext を使用する GUI ベースのユーティリティを使用することもできます。このソフトウェアは poedit.net から入手できます。

AnyConnect メッセージ テンプレートのディレクトリ

AnyConnect メッセージ テンプレートは、次に示すフォルダに格納されています。



(注) **\l10n** ディレクトリは、次に示す各ディレクトリ パスの一部です。このディレクトリ名のスペルは、小文字の l (「エル」)、1、0、小文字の n です。

Windows 7 および Windows Vista

```
<DriveLetter>:\Program Data\Cisco\Cisco AnyConnect Secure Mobility
Client\l10n\<LANGUAGE-CODE>\LC_MESSAGES
例 :
```

```
<DriveLetter>:\Program Data\Cisco\Cisco AnyConnect Secure Mobility
Client\l10n\en-us\LC_MESSAGES
```

Windows XP :

```
%ALLUSERSPROFILE%\Application Data\Cisco\Cisco AnyConnect Secure
Mobility Client\l10n\<LANGUAGE-CODE>\LC_MESSAGES
```

Mac OS X および Linux :

```
/opt/cisco/anyconnect/l10n/<LANGUAGE-CODE>/LC_MESSAGES
```

メッセージカタログの作成

Gettext を使用してメッセージカタログを作成する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Gettext ユーティリティを <http://www.gnu.org/software/gettext/> からダウンロードし、管理用のコンピュータ（リモートのユーザ コンピュータ以外）にインストールします。
 - ステップ 2** AnyConnect がインストールされたコンピュータにある、AnyConnect メッセージテンプレート *AnyConnect.po* のコピーを取得します。
 - ステップ 3** この AnyConnect.po ファイルを編集し（notepad.exe または任意のプレーン テキスト エディタを使用）、必要に応じて文字列を変更します。
 - ステップ 4** Gettext のメッセージ ファイル コンパイラを実行して、次のように .po ファイルから .mo ファイルを作成します。

```
msgfmt -o AnyConnect.mo AnyConnect.po
```
 - ステップ 5** ユーザのコンピュータ上の正しいメッセージテンプレート ディレクトリに .mo ファイルのコピーを格納します。詳細については、[AnyConnect メッセージテンプレートのディレクトリ](#)を参照してください。
-

新しい翻訳テンプレートと変換テーブルの統合

当社では、クライアント接続に関する有用な情報を提供するため、AnyConnect ユーザに表示する新しいメッセージを追加することがあります。そのような新しいメッセージの翻訳を可能にするため、当社で新しいメッセージ文字列を作成し、それを最新のクライアント イメージにパッケージされた翻訳テンプレートに含めてあります。そのため、最新のクライアントにアップグレードすると、新しいメッセージが含まれたテンプレートも入手できます。ただし、前のクライアントに含まれていたテンプレートを基礎に変換テーブルを作成してある場合は、リモート ユーザに新しいメッセージが自動的に表示されるわけではありません。最新のテンプレートを変換テーブルに統合し、変換テーブルに新しいメッセージを含める必要があります。

統合には、便利なサードパーティ製のツールを利用できます。GNU プロジェクトの Gettext ユーティリティには Windows 版があり、コマンド ウィンドウで実行できます。詳しくは、GNU の Web サイト (gnu.org) を参照してください。また、Poedit などの、Gettext を使用する GUI ベースのユーティリティを使用することもできます。このソフトウェアは poedit.net から入手できます。両方の手順を次に示します。

ステップ 1 [リモートアクセス VPN (Remote Access VPN)] > [言語のローカライズ (Language Localization)] > [テンプレート (Templates)] を選択し、最新の AnyConnect 翻訳テンプレートをエクスポートします。AnyConnect.pot というファイル名で、テンプレートをエクスポートします。このファイル名にすると、msgmerge.exe プログラムからこのファイルがメッセージカタログテンプレートとして認識されます。



(注) この手順は、すでに最新の AnyConnect イメージ パッケージを ASA にロードしてあることが前提になっています。まだロードしていない場合は、テンプレートをエクスポートできません。

ステップ 2 AnyConnect テンプレートおよび変換テーブルを統合します。

Windows 版の Gettext ユーティリティを使用している場合は、コマンドプロンプトウィンドウを開き、次のコマンドを実行します。このコマンドでは、次のように、AnyConnect 変換テーブル (.po) とテンプレート (.pot) が統合され、AnyConnect_merged.po ファイルが新しく作成されます。

```
msgmerge -o AnyConnect_merged.po AnyConnect.po AnyConnect.pot
```

このコマンドの実行結果の例を次に示します。

```
C:\Program Files\GnuWin32\bin> msgmerge -o AnyConnect_merged.po AnyConnect.po  
AnyConnect.pot  
..... done.
```

Poedit を使用している場合は、初めに AnyConnect.po ファイルを開きます。それには、[ファイル (File)] > [オープン (Open)] > <AnyConnect.po> の順に選択します。次に、[カタログ (Catalog)] > [POT ファイル <AnyConnect.pot> から更新する (Update from POT file <AnyConnect.pot>)] の順に選択して、テンプレートと統合します。新しい文字列と使用されなくなった文字列の両方を示す、[サマリーの更新 (Update Summary)] ウィンドウが表示されます。ファイルを保存します。このファイルを次の手順でインポートします。

ステップ 3 [リモートアクセス VPN (Remote Access VPN)] > [言語のローカライズ (Language Localization)] から、統合した変換テーブルをインポートします。[インポート (Import)] をクリックし、言語を指定して、翻訳ドメインとして AnyConnect を選択します。インポートするファイルとして AnyConnect_merged.po を指定します。